

御崎神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

宗教法人では御崎神社として登録されておりますが、富の方々の歴史観や信仰の思い強く、今日でも富八幡宮と呼ばれている。八幡宮と御崎宮は夫々相異なる歴史的経緯があり、一つの社殿に祀るようになって、八幡神である仲哀天皇、応神天皇の祖神とも云える玉依姫命（神武天皇御母）を主祭神に、相殿として八幡大神を祀ったのではないかとと思われる。

摂社として、八幡大神を含め五朝に仕え、功績のあった竹内宿禰を祀る白髭神社（高麗神社）や山神社があり、末社として木野山神社、地神社、秋葉神社が、また西方向の奥谷には荒神社がある。

本殿東の岩石群から4～7世紀頃に、祭りに使用されていた土器片が発見されたことから、祭祀遺跡の磐座とされている。また周辺海の頃、神亀年間（724～728）に宇佐八幡宮（725鎮座）より勧請し、富八幡宮として祀るが、靈験があってこの里の魚者達獲物多く、村中富栄えて人々富の湊と呼ぶようになり、この里の名を富とした。また東西より馬を出して競馬に乗る神事があったが、今はその馬場の跡がある。当神社の社殿が西面になっているのは、富集落の方向に向いている他、近世の頃、富、亀山、道口、下竹、上竹五か村の総氏神であったため、東西に参道が設けられていたのではないかとと思われる。

古代から富の存在は、数々の和歌によっても明かであり、神社地の広さに比べ、社殿は必ずしも大きくないが、信仰心の厚き氏子の方々により、古き歴史を有する鎮守の森を守り、大当番祭や御日待祭のように古き伝統や文化を大切に守っている。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 05013

神社名 御崎神社（オンザキジンジャ）

通称名 富八幡

旧社格 村社

鎮座地 〒713-8116 倉敷市玉島富426

電話番号

FAX番号

駐車場 有 50台

御祭神 玉依姫神, 仲哀天皇, 応神天皇, 神功皇后

御神徳 福德・安産・教育, 交通・海上安全, 商売繁盛, 家内安全, 海上安全

主な祭典 5月4日: 荒神社春祭
10月9日: 木野山神社秋祭
10月第4土曜日、日曜日: 秋季例大祭

宮司宅電話 0865-42-5937

URL

特記事項

神社での祭典以外に、当番の家で行う大当番祭があり、神事のあとに小部落の方々と直会を行う風習がある。また、新年から行われる「お日待祭」があり、日の出を待って太陽を拝する昔からの行事がある。

氏子地域 倉敷市（玉島道口（一部）、玉島富）

交通アクセス

富のバス停から西へ約500m

[検索画面に戻る](#)

